

# 第1回

イベント運営は  
**大学生**

コンテスト応募者は  
**中高生**

表彰された動画は  
**小学生**  
の教材に

中高生を  
対象とした  
金融教育動画  
コンテスト

# FRES

# コンテスト

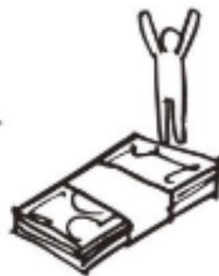
Financial Education Support Contest for Student

“金融教育を自分ごととして考える”ことを目的として、

大学生が主体となり、中高生が応募する、小学生にお金について伝える動画コンテスト

金融教育動画投稿コンテストを開催します。

優秀な作品は、消費者庁の教材、当機構が開催する金融教育などで使用される予定です。



## 実施報告書

### 2023



一般社団法人  
日本金融教育支援機構

一般社団法人  
日本金融教育支援機構

一般財団法人  
三菱みらい育成財団

# 目次

<a href="#">目次</a>	<a href="#">2</a>
<a href="#">概要</a>	<a href="#">3</a>
<a href="#">募集要項</a>	<a href="#">4</a>
<a href="#">意義・メリット</a>	<a href="#">5</a>
<a href="#">タイムライン</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">賞金・副賞</a>	<a href="#">7</a>
<a href="#">協力団体紹介(後援)</a>	<a href="#">8</a>
<a href="#">協力団体紹介(協賛)</a>	<a href="#">9~13</a>
<a href="#">報道掲載</a>	<a href="#">14</a>
<a href="#">オンラインワークショップ</a>	<a href="#">15</a>
<a href="#">ワークショップ</a>	<a href="#">16</a>
<a href="#">大学生運営実行委員</a>	<a href="#">17</a>
<a href="#">応募件数・一次審査基準</a>	<a href="#">18</a>
<a href="#">第1回FESコンテストファイナリスト1~20</a>	<a href="#">19~38</a>
<a href="#">最終審査・審査員</a>	<a href="#">39</a>
<a href="#">表彰式・懇親会</a>	<a href="#">40・41</a>
<a href="#">第1回FESコンテスト受賞作品</a>	<a href="#">42~50</a>
<a href="#">総括</a>	<a href="#">51</a>
<a href="#">今後の展望・計画</a>	<a href="#">52</a>
<a href="#">主催者よりごあいさつ</a>	<a href="#">53</a>
<a href="#">運営協力者</a>	<a href="#">54</a>
<a href="#">運営協力団体</a>	<a href="#">55</a>

# 概要

名称	第1回FESコンテスト (Financial Education Support Contest for Student)
内容	FESコンテストは、中高生が小学生のために金融教育動画を制作し、そのできばえを競うコンテストです。優秀な作品は消費者庁や当機構などによって教材として使用されます。
趣旨	<p>FESコンテストの目的は、小学生から大学生まで、さまざまな年齢層の生徒・児童が「金融教育を自分ごととして考える」ようにすることです。</p> <p>FESコンテストは、当機構が制定したお金の8つの力「使う」「稼ぐ」「納める」「貯める」「備える」「贈る」「借りる」「増やす」の力を総合的に高め、社会で生き抜く力の獲得に資することを目指して、開催されました。</p> <p>また、年下世代の子どもたちにとってわかりやすい教材を制作するためには、伝えたいことを自分自身が深く学ぶ必要があります。その過程をとおして理解がいつそう深まると同時に、相手の立場にたって考え発信する力が身につくことも期待しています。</p>

## FESコンテストとは

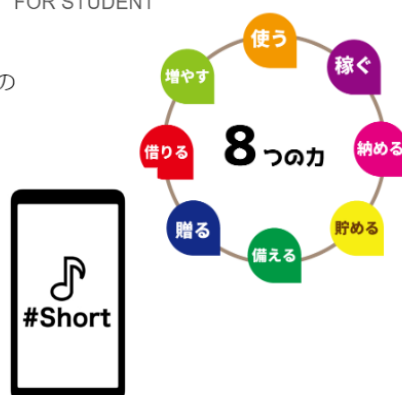
F INANCIAL E DUCATION S UPPORT C ONTEST FOR STUDENT

“金融教育を自分ごととして考える”ための

学生主導型の企画。大学生が主体となり運営。

中高生が小学生向けの動画を制作。

8つの力のうち1つを選択し、  
1分以内の縦型ショート動画を制作



# 募集要項

募集部門	「Study部門」 お金に関する8つの力「使う」「稼ぐ」「納める」「貯める」「備える」「贈る」 「借りる」「増やす」から一つを選択 小学生向けの金融教育の要素を含むこと
応募期間	2023年6月15日～2023年9月15日
応募資格	全国の中学生・高校生 ※チーム・学校・個人応募すべて可
応募方法	LINE公式アカウントまたはGoogleフォーム
作品条件	募集テーマにそった45秒～60秒の縦型動画作品 他のイベントやコンテストなどで未発表の作品 他者の著作権を侵害しないオリジナル作品 アニメーション・実写など表現方法は問いません。 文字・音声の有無は問いません。
応募条件等	販売する作品ではないため、人物が写った場合のモデルリリース(肖像権 使用許諾同意書)等の提出は不要ですが、被写体の許諾はお取りいただき ます。 商品のロゴ等を消す必要はありません。 音楽を付ける場合、商用利用可能な音源を利用させていただきます。 権利に関するトラブル等について当機構は責任を負いかねます。 応募件数に制限はありません。
著作権の扱い	映像化権および二次使用权など、入賞作に発生する著作権(著作権法第 27条および第28条の権利を含む)は主催者に帰属します。

# 意義・メリット

	各年齢層にとっての意義
大学生 (運営担当者)	大学生はイベント運営をとおして、チームで大きなことを成し遂げる経験が得られます。その経験は就職活動や円滑な社会生活を送るために役立ちます。また、社会に出る前に、金融教育を自分ごとと考える機会にもなります。
中高生 (動画制作者)	学んだことを小学生のために発信することで、身の回りの人以外の誰かに自分のメッセージを届けるという体験ができ、発信力を身につけるきっかけとなります。 また、発信するためにアイデアをまとめる過程で、お金について考える機会を得られます。動画制作も、学校では学べない有益な体験となります。
小学生 (動画視聴者)	年齢の近い中高生が制作した動画を身近に感じながら楽しむことで、お金のいろいろな力を学べます。

	ステージごとのメリット
学修ステージ	当機構が策定した「お金の8つの力」から興味ある項目を生徒自身が選び、動画を制作するという取り組みは、受け身の金融教育とは異なり、深い学びが得られます。 応募作品は自分よりも年下の世代に向けたものであるため、動画の内容を考えることは、他者へ伝える力が身につくPBL(課題解決型学習)といえます。
制作ステージ	若年者の中で急速に広まっている動画コンテンツですが、学校教育現場で動画制作を学べる機会は多くありません。生徒たちが自主的に動画を制作する場を設けることで、学校現場ではなかなか取り上げられない実習の機会を提供します。
活用ステージ	学校教育における金融教育は、必要性の認識が高まってはいるものの、明確な指標や尺度がない創成期にあります。そうしたなかで当機構は、金融教育を支援する団体として独自のプログラムを展開しています。 FESコンテストの受賞作品も当機構の教材として使用されるほか、消費者庁が主催する勉強会などでも利用される予定です。FESコンテストは表彰されて終わりではない、実践的なイベントです。

# タイムライン

6月8日	大学生運営実行委員募集開始
6月12日	一般財団法人三菱みらい育成財団により助成事業に採択される
6月15日 ～9月15日	作品応募期間
10月10日	一次審査、ファイナリスト20作品発表
10月31日	最終審査、通過8作品と学校賞発表
11月1日 ～11月15日	最終審査通過者が運営事務局とオンライン面談
11月26日	第1回FESコンテスト表彰式 最終審査通過8作品の賞を発表 懇親会

# 賞金・副賞

賞	件数	副賞
最優秀賞	1	5万円相当
優秀賞	2	3万円相当
万博賞	1	2万円相当
審査員特別賞	1	1万円相当
クリエイター賞	1	1万円相当
奨励賞	2	5千円相当
最優秀校賞	1	特別ゲストによるオリジナル授業の開催

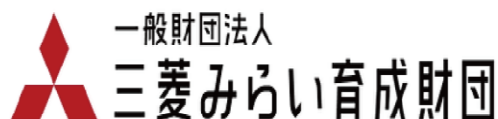
加えて、一次審査を通過した20名にはファイナリストオリジナルNFTバッジを、上記受賞者には受賞者オリジナルNFTバッジをお渡ししました。

また、ご応募くださったすべての方に対する敬意の証としてお届けした「参加証明書」は、記念や思い出とするほか、新たな進路へ向かう際に「中高生のとき力を入れたこと」の証明などとしてもお使いいただけます。

# 協力団体紹介(後援)

後援	<p>消費者庁 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 東京都</p> <p>東京都では2023年5月26日から2025年3月31日までの事業期間で「金融経済教育に関する講師派遣事業」を実施しています。当機構も10名の講師を派遣しています。</p>
助成	<p>一般財団法人三菱みらい育成財団</p> <p>FESコンテストは6月12日付で三菱みらい育成財団の2023年度助成事業のうち、教育事業者等が行うより先進的、特徴的、効果的な「心のエンジンを駆動させるプログラム」に採択され、3年間の支援を獲得しました。金融教育事業者としては初の選出となります。</p>

FESコンテスト(一般社団法人日本金融教育支援機構)は一般財団法人三菱みらい育成財団の助成事業として、採択されました。



一般社団法人日本金融教育支援機構は財団の支援を受けながら、FESコンテスト、全国各地もしくはオンラインのワークショップを実施します。



# 協力団体紹介(協賛)

## 【協賛(シルバー)】

株式会社ホテル三日月は、FESコンテストへの協賛に加え、ワークショップ「FESコンテストへの道 in 木更津」の会場提供、ワークショップ参加特典としてプール入場券(一人2,600円相当)をご提供いただきました。

金融教育の動画制作についてアイデアを出し合った子どもたち。木更津市で



中高生向けの金融教育ワークショップ「FESコンテストへの道 in 木更津」が10日、木更津市北浜町の龍宮城スパホテル三日月で開催された。県内外の小学4年生から高校生まで24人が参加した。FESコンテストは、一般社団法人日本金融教育支援機構が全国で開催している。中高生が小学生

## 小4〜高校生の24人 動画制作と金融学ぶ

木更津

中高生向けの金融教育動画制作し、出来栄を競う。ワークショップは同機構が主催し、ファイナンシャルプランナーら機構認定の講師に学べる実践型サポート。子ども同士で、アルバイト、貯金などお金にまつわるキーワードについて「使う・稼ぐ・ためる」などお金と上手に付き合う上で必要な「八つの力」を考えながら意見交換。動画制作とお金について同時に学んだ。チームで参加した木更津市立清川中学校3年の岩切志樹さん、軽米奏多さん、野呂惟斗さんの3人は「学校では習っていない動画編集を経験できてうれしかった。普段当たり前のように払っている消費税など税金について、動画を制作することでより理解が深まった」と話していた。(山本哲正)

(東京新聞：2023年09月16日掲載)

# 協力団体紹介(協賛)

## 【協賛(シルバー)】

株式会社ODKソリューションズは、本コンテストでの実績を第三者に対して証明する体験実績NFTの発行と、「クリエイター賞」の動画作品を収めた特製デジタルアートフレームの授与を支援いただきました。

また、東京ビッグサイトで開催された「JAPAN MOBILITY SHOW 2023(ジャパンモビリティショー)」の学生レポーターとして大学生運営委員が参加し価値創造の機会をご提供いただきました。



# 協力団体紹介(協賛)

## 【協賛(シルバー)】

行政書士法人GOALは、新規ビジネス立ち上げ、融資や補助金による資金調達、法人設立、許認可申請など、企業経営をトータルで支援することを使命とし、分野ごとに特化した専門チームによる対応で、質の高いサービスを提供しています。

また、大学生運営委員が企業訪問し、インタビューした紹介記事を執筆いたしました。

第1回FESコンテスト

大学生実行委員のインタビュー/行政書士法人GOAL代表石下貴大さん



諦めないことも大事ですが、振り返ってみると vol.1

固執しない決断こそが自分の可能性を広げてくれたと感じます

行政書士法人GOAL(以下、「GOAL」)は、2014年に設立。全国4拠点・スタッフ総勢17人。「VISA業務」から「融資や補助金での資金調達」「法人設立」「許認可申請」まで、企業の経営をトータルでサポートしています。代表の石下貴大さんと、大学生実行委員会の秋間安美香さんは、立教大学の先輩後輩でもあります。石下さんは行政書士法人を設立する以前は司法試験合格を目指して勉強するフリーターでした。弁護士に見切りをつけた時は、既に29歳。自身が置かれた状況から、即独立して稼げる仕事をしなければということもあり、また、行政書士という仕事に立教大学時代の友人が携わっていた縁もあり、行政書士で独立することを決め、その中でも産業廃棄物業務をメイン業務に据えて個人事務所を開業しました。

～キャリア選択の舞台裏とは？司法試験から転身～

29歳で選んだ「一番になる」道、行政書士への転機

～石下さんはなぜ、行政書士を選んだのでしょうか？  
石下：大学卒業以来しばらくは、弁護士を目指して司法試験を受け続けるフリーターでした。当時、司法試験は平均7、8回受ける人も多く、なかなか諦めることもできずに気づけば29歳。しかし、ちょうどそのタイミングで法律が変わり、ロースクールに通っていないと司法試験が受けられないようになりました。それを機に、司法試験を受け続けることをやめ、新たな道へ進むことにしました。長年勉強してきた司法試験の内容が役に立つと思ひ、試験内容が司法試験と似ていて、独立ししやすい行政書士の資格を取得し、現在に至ります。



～一万以上の業務に挑む行政書士の日常～

法的サポートの幅広い世界と、ビジネスにおける法的サポートの中核を担う

～行政書士はといったどんなことをお仕事をでしょうか？  
石下：行政書士の仕事内容は行政手続きが主な仕事であり、業務範囲が幅広いので、一言では言い表わせない部分があります。例えば、留学生在が日本で就職するとなった時には、留学ビザから就労ビザへの変更が必須ですが、その支援や許認可を必要とする企業のサポートも行います。業務の種類はじつに一万以上あり、許認可が必要な業務も存在します。その許認可は、ルールが多い日本ならではのものもあるので希少性があり、やりがいを感じやすい面もあります。



～どのような許認可があるのでしょうか？

石下：建設業や飲食業、運送業、化粧品輸入代行業、障がい福祉事業など本当に様々です。

～ありとあらゆる業務を通じて広がる視野～

～行政書士の特徴を教えてください？

石下：資格が必要な職業の中で、行政書士は、多くの人や物に触れることができる点で、行政書士の仕事に活かせることはあります。実際には自分が精通している分野の法律の業務を行い、活躍している人はたくさんいます。

～行政書士に向いている人はどのような人でしょうか？

石下：行政書士が適職な人としては、やるべきことにコツコツ取り組める人、企業に対してお手伝いできる範囲が大きいので、色々ところに興味を持って楽しめる人が向いているのではないのでしょうか。また、行政書士を目指す人は法学部が一般的と思われていますが、文学部や理学部、経済学部も多いです。大学で法律に関係ないことを学んでいたとしても、行政書士の仕事に活かせることはあります。実際には自分が精通している分野の法律の業務を行い、活躍している人はたくさんいます。

～行政書士法人GOALと一般的な

行政書士法人でのインターン体験の違いとその魅力～

～国から受託した責任ある仕事で将来の選択肢を無限にGOALさんがインターンで売りにしていることはどのようなことでしょうか？

石下：そもそも行政書士事務所では雇用がないので、インターン自体が少ないです。我々は積極的にインターンの活用に取り組みでいて、VISAチームで業務補助や翻訳、コラム作成や展示会出展のサポートなど幅広い業務に慣れていただいています。一般的なインターンでは、言われたことをこなすことがほとんどで、やりたいことを伝えたり、能動的に活動することで視野を広げる機会が少ないです。しかしGOALでは、インターンを将来の選択肢を見つけるための機会提供を意識した環境づくりの場として考え、設計しています。

～独立への一歩～

資格取得から見た行政書士としての、自由なキャリア構築

～資格を取って独立する場合、決断の根拠としてはどのようなものがありますか？

石下：自由が好きかどうかは大きなポイントになります。自分のやりたいようにできる一方で、責任が伴います。やりたいことについては、何をやりたいのか、自分で自分をデザインしていくことができるかといった点も重要になります。

～どのような人が社会で成功すると思いますか？

石下：成功する力キとしては、視野が広く持てる人。例えば、ドロップアウトした時に、それでダメになるんじゃないかと、視野が狭くなることへの怖がりがなければ、何かが終わっても自分で見切りをつけ、ずるずる引きずることもないでしょう。自分の可能性を信じて自己肯定感を保つことが、ひとつの鍵であると考えます。

～大学生に贈るメッセージ～

好きなことを追求し、未知の領域に挑むためのアドバイス

～最後に、今学生に対して伝えたいメッセージをお願いします。

石下：自分にとってつまらないことは続かないし、好きなことは必ずと楽しくて継続しやすくなります。人は、理由がわからないとやらないため、将来どうしたいということから、何がしたく何をしたいのかを逆算的に考えなければなりません。目的と手段の明確化が必要で、自分が何が好きで、どういときに嫌しくて、何にやりがいを感じるのかを知るのが成功の近道だと思っています。世の中には色々な情報がありますし、人それぞれ目標や何に幸せを感じるかは違うはずですが、だからこそ、自分を知ることが大切なのです。今、学生に必要なのは、好きなことが何なのかをきちんと理解するための選択肢の拡大です。多くの人に挑戦してみることで、自分で自分をデザインするための材料を多く集めた方が、よい結果に結びやすいかもしれません。皆さんの明るい将来と未来を心より応援しています。



挑戦する経営者の伴走者

GOAL <https://go-al.co.jp/>

行政書士法人GOAL

代表者名：石下 貴大

銀座本店所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目15-7マック銀座ビル402(他、大阪支店・宇都宮支店・川崎支店の4拠点)

電話番号：0120-056-906 / 受付時間：平日9:00-19:00

交通アクセス：東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」10番出口より徒歩3分

都営浅草線「宝町駅」A3番出口より徒歩3分 / 東京メトロ日比谷線「都営浅草線」東銀座駅、A2番出口より徒歩8分

東京メトロ丸の内線「銀座線」日比谷線「銀座駅」A10番出口(銀座4丁目交差点付近)より徒歩10分

# 協力団体紹介(協賛)

## 【協賛(シルバー)】

三鷹ヒロクリニックは、東京都三鷹市で美容医療をおこなっているクリニックです。今回のご協賛にあたって「稼ぐ」をテーマとした1分間の縦型動画を自ら制作、SNSに投稿してFESコンテストを盛り上げていただきました。



# 協力団体紹介(協賛)

## 【協賛(ブロンズ)】

株式会社リフレサービスは、個人向け確定拠出年金や資産運用、年金・社会保険、リスクマネジメント・保険などに関する相談業務やセミナーをおこなうFP事務所です。

株式会社グロウニッチは、インターネットマーケティング、インターネットコンサルティングの他、Webサイト制作、ECサイト構築、ホームページ更新管理、Web広告代理などのサービスを手がけています。

株式会社KS Oneは、「投資をもっと面白く」を目指し、動画によるIRサポートや投資系動画コンテンツの企画制作、金融・投資サービスのプロモーション、動画マーケティング支援などのサービスを提供しております。

# 報道掲載

2023年	2024年
6月6日:Yahoo! ニュース 8月24日:神戸新聞社 8月28日:山陽放送(TBS系列) 9月5日:四国新聞 9月8日:新千葉新聞 9月14日:産経新聞 9月16日:東京新聞 9月23日～30日:J:COM(木更津地域)	1月15日:読売新聞 2月13日:千葉テレビ 2月24日～3月2日:J:COM(柏地域)



2/14(水) 17:08 配信

チのびテレビ



# オンライン ワークショップ

## 株式会社ジンジブとの協業

株式会社ジンジブとの協業で、オリジナルワークショップ「社会に出る前に知っておきたいお金のこと」を夏休み期間中に計18回にわたってオンラインで実施しました。

また、同社主催の「ジョブドラフトFes」にて本ワークショップの告知をおこなうと同時に、参加された高校生のみなさんや学校関係者様に当機構の金融教育を紹介させていただきました。

高校生のための合同企業説明会  
ジョブドラフトFes × FES コンテスト  
Financial Education Support Center for Student

社会に出る前に  
知っておきたい  
お金のこと

人気NO.1の  
おにぎりを  
作ろう!

- 1 一番売れる人気のおにぎりを自分たちで作ってみよう
- 2 お店の3つの使い道を考えよう
- 3 今、よく売られる“投資”の本場の意味を知ろう
- 4 お店にまつわるトラブルを知っておこう
- 5 金融教育動画を制作して『FESコンテスト』へ応募しよう

# ワークショップ

第1回は、東京都文京区・武蔵野市、千葉県印西市・木更津市、香川県、兵庫県、の5会場でワークショップを行いました。

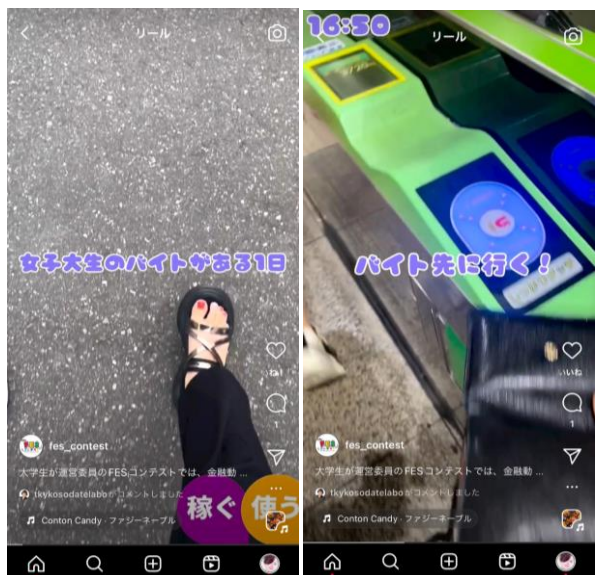
国/公/私立の中学校、高等学校、大学およびそれに準ずる教育機関など学校現場での出張授業も実施しました。





# 大学生運営実行委員

多くの運営委員のメンバーが、FESコンテストの表彰式に至るまでの、ワークショップのサポートや高校の授業の登壇サポート、プレスリリースの投函、動画編集、SNS投稿等自主的に取り組んでくれました。



# 応募件数・一次審査基準

応募作品数	156件
応募学校数	42校

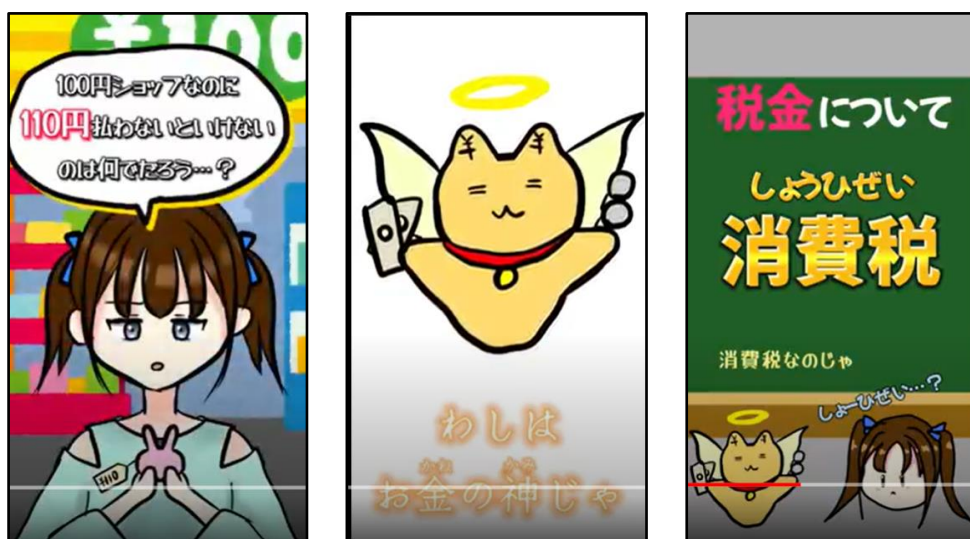
一次審査	動画の内容を以下3つの基準で審査し、ファイナリスト20作品を選出しました。
F: Fun (楽しさ)	動画が視聴者に楽しさや興味をもたらすかどうかを評価します。
E: Educational (教育的価値)	動画がお金に関する有益な知識や情報を提供しているかどうかを評価します。
S: Shareable (シェア可能性)	動画がSNSでシェアされやすく、他の人にも魅力的であるかどうかを評価します。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト1(50音順)

## 1. 「税金は何に使われているの？」 池田 和奏さん

(香蘭女学校中等科3年)

テーマ：納める



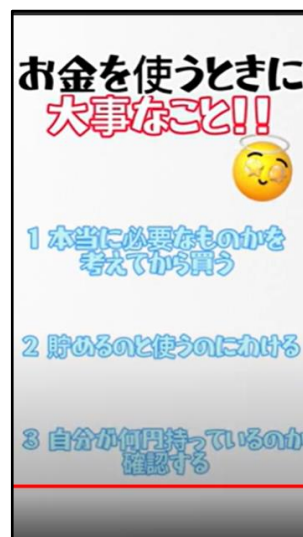
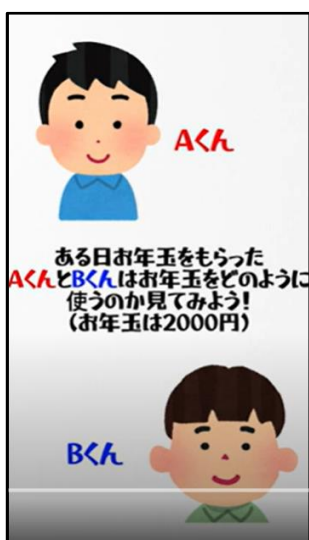
内容	買い物に行った女の子は100円の商品が110円で売られていることを不審に思います。そこに現れた「お金の神」が女の子に消費税のことを教えます。女の子は消費税が国民の役に立っていることを知り、納得して110円支払いました。
選出理由	小学生が実際に感じそうな不満に対して、税金の必要性を訴えて上手に答えています。絵がうまく「お金の神」のキャラクターもユニークで、楽しく学べる作品でした。
運営者総評	正体のわからないお金を払うのはいやだという気持ちは大切です。消費税は小学生も払う税金ですから、この作品の主人公のように、国民のために使われることを知ったうえで払ってほしいと思います。おこづかいの範囲での身近な買い物から、税金への理解を促す楽しい動画でした。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト2(50音順)

## 2. 「ねえねえ、お年玉ってどう使う?」 岡本 七海さん (団体応募代表者)

(第一学院高等学校仙台キャンパス)

テーマ：使う



内容	2千円のお年玉をもらったAくんとBくん。Aくんは1軒目の店で全部使ったので、次の店では何も買えませんでした。Bくんは1軒目で半分しか使わなかったため、次の店で別のものが買えました。 お金は、貯めるお金と使うお金に分けるなどして計画的に使いましょう。
選出理由	画面への文字の出し方が上手でした。また、イラストと実写を交互に使う工夫で、場面が変わっていることがスムーズに理解できました。最後に「まとめ」として、お金を使うときの注意点が整理されているので、有益な情報として記憶に残ります。
運営者総評	お年玉は年に1回子どもが手にする大金です。それを題材にしたことで、小学生の印象に残る動画になっていると思います。ただ、お年玉はお正月に、おもに親や親戚から渡されるものであることを考えると、もらう場面にもう一ひねりあってもよかったかもしれません。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト3(50音順)

## 3.「消費と浪費のちがい」 沖 千遥さん

(広島工業大学高等学校1年)

テーマ：使う



内容	着ない服を買ってきたお姉さんに、弟が「それは浪費だ」と教えます。浪費をしないためには、買いたいものが本当に必要か考えることと、買い物あとの振り返りすることが大事です。正しいお金の使い方をしてカッコイイ大人になるために、姉弟は一緒にがんばることにしました。
選出理由	消費と浪費の違いを具体例で示し、さらに一般化することで、お金の使い方を考えさせる作品です。加えて、「買ったものの振り返り」という将来へ向けた浪費予防策の独自性が高く評価されました。
運営者総評	無駄使いの対象をおもちゃやゲームでなく、お姉さんの服にしたことが、小学生の共感を得られそうです。「お母さんの服」に置き換えて見る子もいるかもしれませんね。消費と浪費を対比するときにポップアップで表示されるイラストが、動画をより楽しいものにしています。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト4(50音順)

## 4. 「ふるさと納税とは???～問題点とともに考える納税のあり方～」 及部 美華さん

(桐光学園高等学校1年)

テーマ：納める



内容	話と字幕でふるさと納税について解説していく本人出演動画です。ふるさと納税の問題点は、あまりに多くの住民がほかの地域に納税すれば町の財政が立ち行かなくなることです。お金が入る町は活性化するが、出ていく町では困る制度なので、今後変わっていくのではないのでしょうか。
選出理由	「納める」では消費税を取り上げる作品が多いなか、利用している家庭の小学生なら身近に感じているであろう「ふるさと納税」をテーマにしたところに独自性があります。みんなの意見を求める問いかけをもとに、視聴後に議論もできるでしょう。
運営者総評	イラストなどを使わずスピーチだけで構成した作品です。スピーチは上手で、よく練習したことがわかります。次はふるさと納税を知らない子どもたちのためには、返礼品をイラストなどで例示して視覚に訴えることにチャレンジしてほしいです。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト5(50音順)

## 5. 「お金のとおりみち~つかい方と大切さ~」 加藤せなさん

(日本体育大学柏高等学校 1年)

テーマ：使う



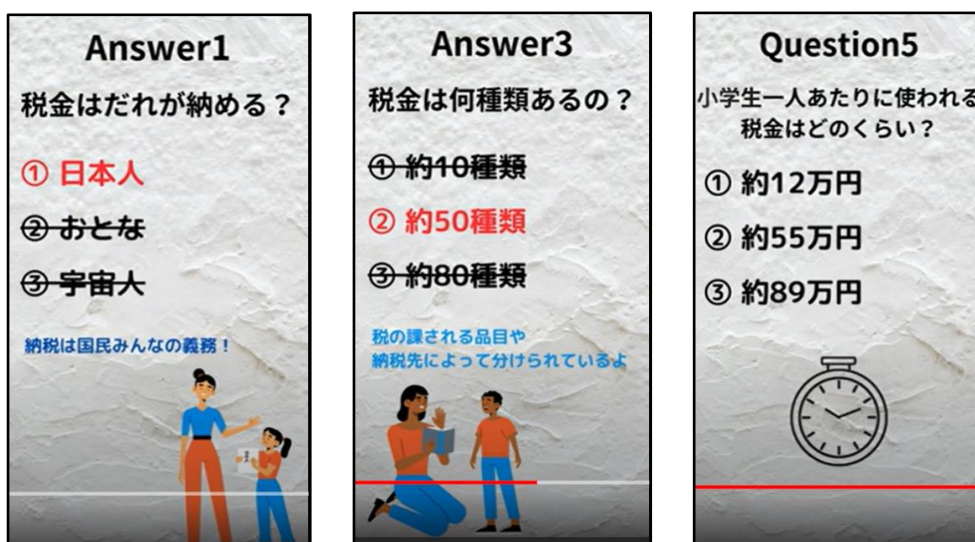
内容	おこづかいは、おうちの人が働いて手に入れたお金から出ています。そこから出しているのはおこづかいだけではなく、それ以外の使い道には、①生活費②娯楽費③自己投資費があります。お金は役立つものに使いましょう。
選出理由	おうちの人ががんばって働いて得たお金なので無駄づかいをしないようにしようというのは、小学生なら必ず持つておきたい視点です。イラストを使って、お金の使い道を楽しく伝えています。
運営者総評	小学生にとって身近な「おこづかい」で話を始め、家計を支えている大人の労働に思いをはせ、家計全体を考えて無駄づかいを戒めるという流れが明快です。動画スタート直後の画面回転が個性的で、目を引きました。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト6(50音順)

## 6. 「税金を知ろう」小松 美羽さん

(群馬県立中央中等教育学校 高校1年)

テーマ：納める



内容	税金について興味を持つきっかけとなるクイズで構成された動画です。クイズは段々レベルアップしていきます。最終問題は「小学生一人あたりに使われる税金はどのくらい？」と、税金を自分ごととして考えさせる内容になっています。
選出理由	画面が全体的に美しく、イラストと文字のバランス、シンプルな色使いにセンスが感じられます。言いたいこともよく伝わり、ほかの人にもシェアしたいできばえです。
運営者総評	音声のない動画でしたが、一画面の字数や字の大きさが適切で、見やすく仕上がっています。クイズにも、小学生がお金に興味を持ちそうな工夫が凝らされていました。



# 第1回FESコンテスト ファイナリスト7(50音順)

## 7. 「税金ってなに？先生が教えるよ！」 酒寄 一輝さん

(群馬県立高崎高等学校 1年)

テーマ：納める



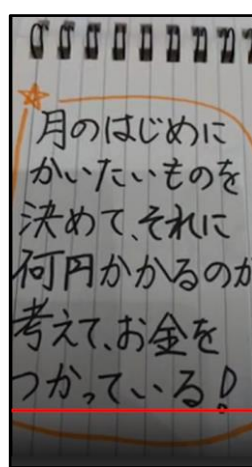
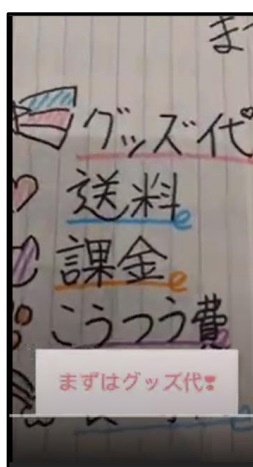
内容	<p>小学生が学校の先生に「税金について教えて」と頼むところから話が始まります。先生は答えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 税金は社会保障や教育など大事なことに使われている</li> <li>● 今は税金だけでは足りなくて、国は借金している</li> <li>● 納税は国民の義務である</li> </ul>
選出理由	<p>先生に教えを請う子どもたちが一貫して不真面目だという点にユニークさを感じました。また、税金の大切さだけでなく、税金が足りないことに言及している点にも独自性があります。</p>
運営者総評	<p>1分間に多くの内容が盛り込まれていますが、イラストと文字をうまく使ってわかりやすく伝えていきます。動画導入部分の「私にとって（税金からお給料が出ているから税金は）生命線」と、最後のオチ「勉強の資金源を断ちに（税金をなくせ）」は、税金について知ったばかりの小学生には難しかったかもしれません。</p>

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト8(50音順)

## 8. 「押し事の金銭事情について」 澁谷 朱音さん

(木更津市立太田中学校 2年)

テーマ：使う



内容	澁谷さんは、お手伝いでもらったお金やおこづかいを趣味の押し活に上手に使っています。その方法を動画にして紹介しました。毎月何にお金を使うか計画していることなど、正しいお金の使い方が、具体的な事例として伝えられています。
選出理由	テーマに合う BGM が選定されており、その音量も適切でした。自分が実践していることをとおして、お金を使って生活を楽しむ方法を伝えるという目のつけどころがユニークです。お金の使い方とおして作者の生活が垣間見えたことで、一層楽しく視聴できました。
運営者総評	お金を残すことを善とする応募作が多いなか、お金を上手に使って生活を豊かにするという発想で具体例を出してきた本作品は目を引きました。ノートの絵と文字をそのまま撮影して動画に仕立てる手法が可能であることを証明した作品でもあります。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト9(50音順)

## 9. 「『つかいかた』いろいろあるよ！」 十河 晴奈さん

(兵庫県立御影高等学校 3年)

テーマ：使う



内容	3人の子どもたちがお母さんに、本を買うお金をもらいました。 1人目は古本屋さんでたくさん買いたい、2人目はレンタルでもっとお得に読みたい、3人目は新しい本がいい、と言います。お母さんは、お金の使い方に正誤はなく、人それぞれ。ただし、考えて使うことが大事だと子どもたちに教えます。
選出理由	自作のキャラクターがかわいい作品です。 個々人の多様なお金の使い方を肯定している点に、あらためて気づきがありました。
運営者総評	本を読みたい場合の選択肢は多いですね。コロナ禍を経た今、「誰かが触っている本は、いや」という3人目の子に共感する方も一定数いるのではないのでしょうか。いやな物にお金を使うよう勧めることはできません。何にお金をかけたいかは人それぞれだと考えさせてくれる、良い作品でした。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト10(50音順)

## 10. 「スマホ決済について知ってみよう！」 高梨 美緒さん

(青山学院横浜英和中学高等学校 高校1年)

テーマ：使う



内容	スマホ決済には、スマホタッチとQRコード決済の2種類があり、なかには小学生に使えるものもあります。財布がいらない、ポイントがつくといったメリットがありますが、使えない店があることには注意が必要です。メリット・デメリットを知って、恩恵にあずかりましょう。
選出理由	お金に代わってスマホで支払う仕組みやメリットを知りたい子どもの疑問に答える内容となっています。動画上の文字が見えやすく、現れ方にも工夫が見られ、わかりやすく仕上がっています。
運営者総評	身近なところからお金に興味を持つきっかけとなるテーマで、着眼点が良いと思います。スマホ決済を使いこなすのは大人になってから、またはおうちの方と相談してから、などのひとことを入れてもよかったですね。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト11(50音順)

## 11. 「マルチ商法に気をつけよう」 高橋亮羽さん (団体応募代表者)

(岐阜県立岐阜高等学校)

テーマ：使う



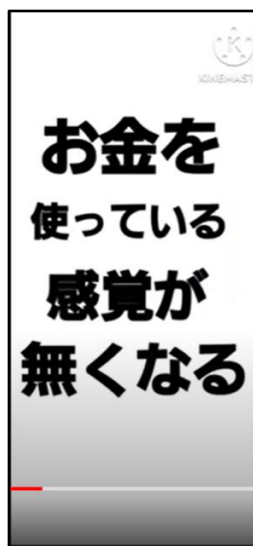
内容	この動画では、マルチ商法とは何か、なぜ気をつけなければならないのかが、高校生の演技によって伝えられます。 多額のお金を出して怪しい商品を買ひ、知り合いをだまして売りつけるマルチ商法。手を出すと、お金も信頼も失うことを教えてくれます。
選出理由	理屈ではなくお芝居でマルチ商法がどういうものか教えており、小学生にとって理解しやすい動画になっています。字幕による説明も簡潔で読みやすく、マルチ商法はよくないものという印象を持ってもらえるはずです。小学生にとって難解なマルチ商法の仕組みを教えるというチャレンジングな取り組みに成功しています。
運営者総評	若い人の中でマルチ商法をめぐるトラブルが増加しています。「まだ教えなくて良い」と思っていたら、いつの間にか「もう知っておかねばならない」状況になっています。子どもが大人の情報に容易に触れられる現代では、この動画のように、世の中にあふれる怪しい商売について予防的に教える取り組みは必要でしょう。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト12(50音順)

12. 「リボ太郎と一緒に『リボ払い』の危険について学ぼう！」 田上 悠二郎さん

(日本体育大学柏高等学校 1年)

テーマ：使う



内容	「リボ太郎」がリボ払いの危険を伝えます。毎月一定額を返済していくリボ払いにすると、お金がなくても物を買えますが、お金を使っている感覚がなくなってしまいます。手数料がかかり、なかなか返済が終わらないことにも注意が必要です。
選出理由	実写のキャラクター「リボ太郎」が、借金が払えないというつらい状況を笑いに変え、リボ払いのデメリットを伝えます。思わずほかの人に紹介したくなる楽しい動画になっています。
運営者総評	リボ払いをまだ知らない子どもたちも、リボ太郎の名前が印象に残ったのではないのでしょうか。将来リボ払いを選択するか問われたときに、きっとその危険さを思い出すでしょう。おもしろいだけでなく、教育的にも優れた作品でした。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト13(50音順)

## 13. 「『稼ぐ=夢への近道』ってほんと！？」 田中 絵里花さん

(長崎市立長崎商業高等学校 3年)

テーマ：稼ぐ



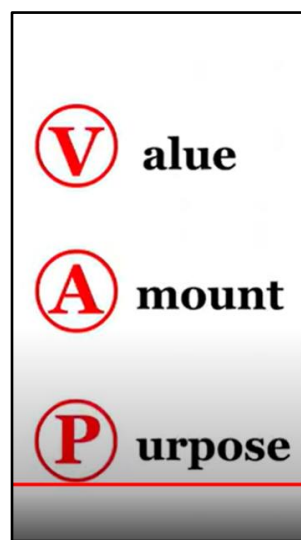
内容	将来の夢を語る子どもたち。夢をかなえるにはお金が必要だ、と現実的です。お金を手に入れるためには稼ぐアイデアを見つけなければ、と話がはずみずみ。動画は、お金を稼ぎ、上手に使って貯金することは、夢を実現させるスキルであるというメッセージを伝えます。
選出理由	「稼ぐ」のは大人になってからなので、自分ごととして小学生に伝えるには工夫が必要です。この作品は、お金を子どもの将来の夢をかなえる手段として扱っています。稼ぐことでどのような良いことがあるかを伝えている点で、有益な作品です。
運営者総評	夢をかなえるためにはお金が必要、だから働く、努力するという主旨の動画で、子どもたちが「稼ぐ」ことに対してプラスのイメージを持てる内容となっています。「夢に向かって努力すればお金が自然と手に入る」とも言っているので、現時点での努力が大切だというメッセージも送っています。全体的にポジティブな作品です。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト14(50音順)

## 14. 「お金の基本」 田中 来実さん

(頌栄女子学院高等学校 1年)

テーマ：使う



内容	<p>お母さんからお金を渡される男の子。お金をうまく使えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● おかずを買うように言われたのにお菓子を買ってしまう</li> <li>● お金が足りないほどたくさんのお菓子を買おうとする</li> <li>● もらったおこづかいを全部クレーンゲームで使った</li> </ul> <p>お金を使うときは、V「価値」A「量」P「目的」を考えましょう。</p>
選出理由	<p>おつかいやおこづかいといった、小学生がお金にかかわる機会が起こりそうな3つの例をイラストで表し、お金を使うときの注意点をうまく伝えていきます。また、アニメーションが上手に使われており、見ていて楽しい動画になりました。</p>
運営者総評	<p>3つの事例が同じパターンでテンポよく進み、見ていて安心感がありました。最後に、注意すべき点を英単語にして頭文字をとって並べ、視聴者の印象に残るような工夫をしている点も良かったと思います。</p>

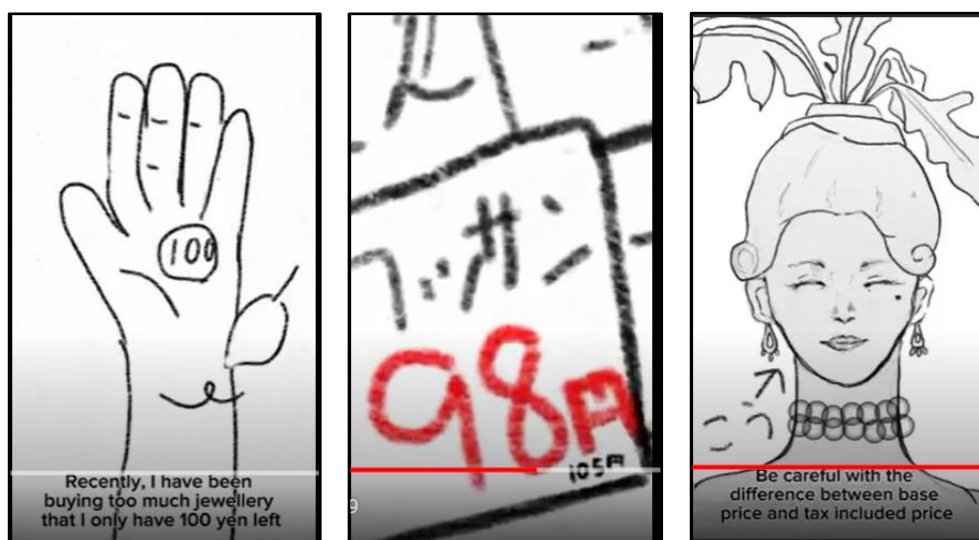


# 第1回FESコンテスト ファイナリスト15(50音順)

## 15. 「消費税とは？」 中軽米 陽向さん

(頌栄女子学院高等学校 1年)

テーマ：納める



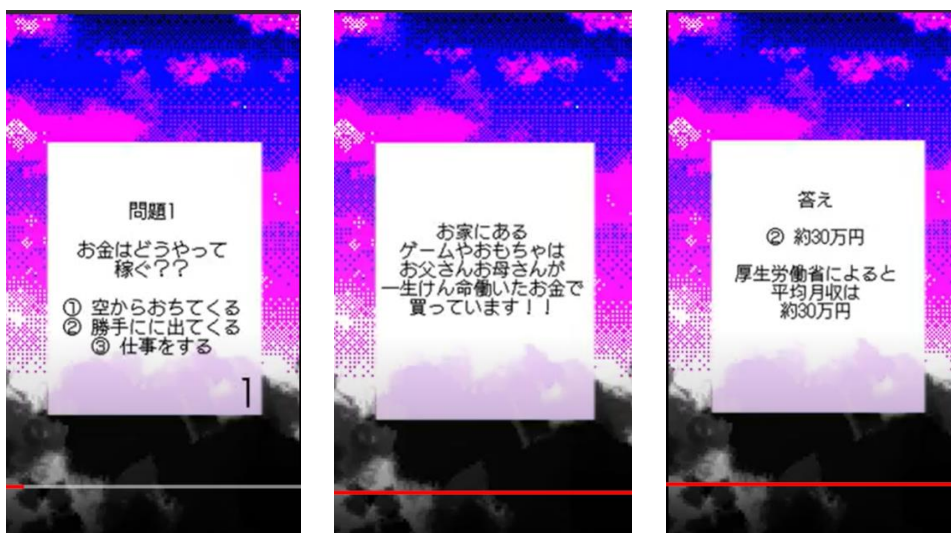
内容	消費税を知らなかったマリー・アントワネットさんは、手元の100円で98円のクロワッサンを買おうとしたら、店員に「105円です」と言われます。いったいなぜ？そこから消費税や税金について説明が始まります。みなさんも、税込み価格と本体価格の違いに気をつけましょう。
選出理由	個性的な絵柄のアニメーションで、買い物する主人公の姿と行動のギャップが笑いを誘います。飽きさせない展開で税込み価格と本体価格の違いを見せてくれました。
運営者総評	コンビニに入るとき音や後半の音楽の使い方がうまく、高い画力で描かれたイラストを引き立てています。ストーリーで興味をひいて最後に税金について解説する手法も見事でした。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト16(50音順)

## 16. 「稼ぐクイズ~全問正解を目指そう！！~」西 美咲さん

(木更津市立岩根中学校 3年)

テーマ：稼ぐ



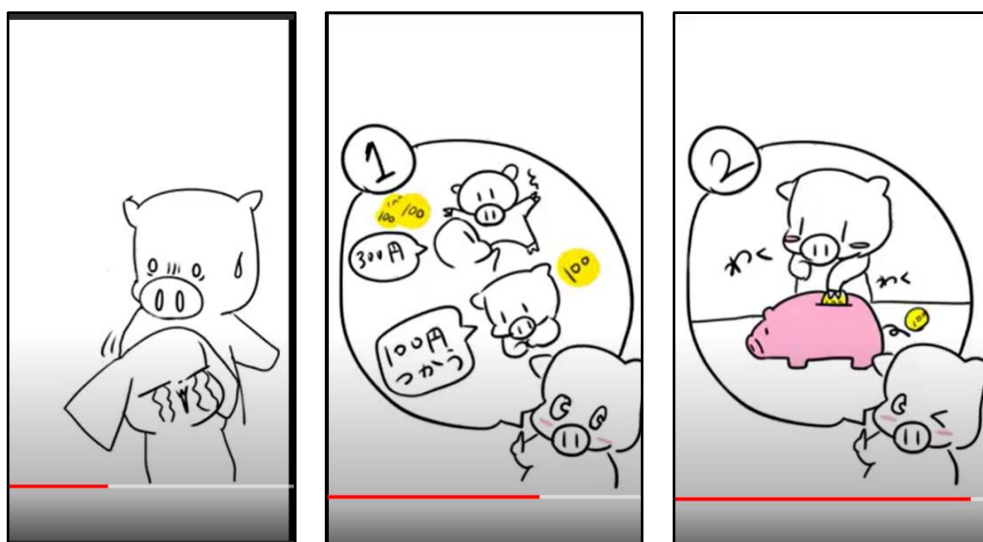
内容	小学生がお金に興味を持つよう工夫されたクイズが展開されます。難しいことは中学・高校で習うから、今は興味を持つだけでよいと動画の意図を伝えます。ゲームやおもちゃはお父さんやお母さんが働いたお金で買っているの、お金について学んだことをきっかけに、「ありがとう」と言うことを勧めています。
選出理由	ゲーム風の画面から、音楽に乗って繰り出されるクイズが楽しい動画でした。「稼ぐ」に関する3つのクイズは笑わせる選択肢のものから政府統計の引用まで、チョイスと並べ方が絶妙で、シェアしたくなる内容でした。
運営者総評	稼ぐことは働くことだと明言しますが、これだけでは今働けない小学生にとっては「関係ない」で終わってしまいます。しかし、働いてお金を稼いでくれている大人に感謝することならできます。最後に行動を促しているところが上手だと思いました。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト17(50音順)

## 17. 「ぶたくんの貯金講座」 馬場 音和さん

(名古屋市立沢上中学校 1年)

テーマ：貯める



内容	<p>「いぬくん」が「ぶたくん」にお金の貯め方を教えてほしいと懇願します。ぶたくんが教えてくれたことは4つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● いくらもらっていくら使うかわかっておく</li> <li>● おこづかいをもらったらすぐ半分貯める</li> <li>● 欲しいものがあってもすぐには買わない</li> <li>● 目標を決める</li> </ul>
選出理由	<p>ぶたくんのお金の貯め方は大人にも通用し、子どももすぐに実践できる有益な知識です。かわいい手書きキャラクターは小学生に人気が出そうで、かわいい声も好感度を高めています。</p>
運営者総評	<p>上手にお金を貯める方法は、小学生のころ身につけるにふさわしい知恵です。使うお金を減らす苦痛は、目標を立てれば楽しいものになるでしょう。大変ためになる作品です。</p>

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト18(50音順)

## 18. 「お金を贈るってなにがある？」 皆川 紗楽さん

(日本体育大学柏高等学校1年)

テーマ：贈る



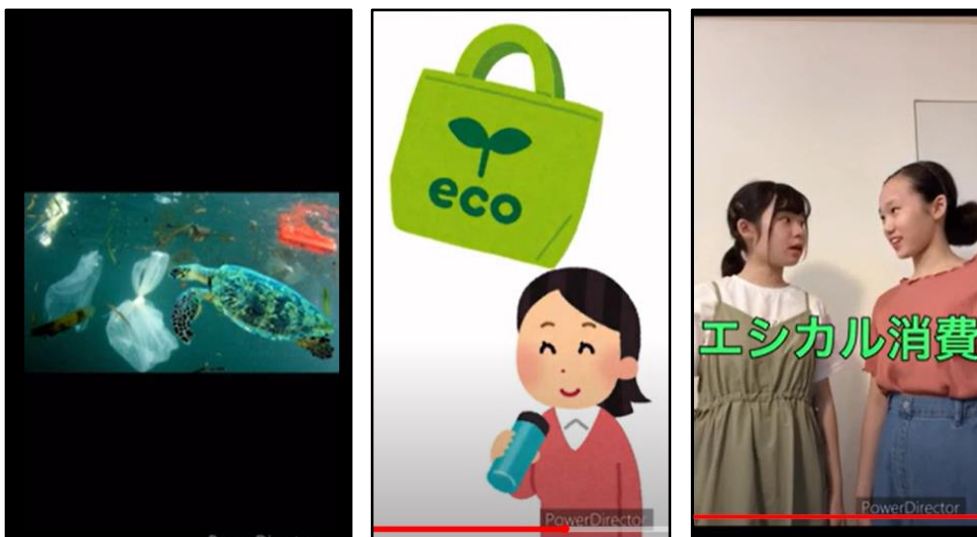
内容	店舗のレジ横にある募金箱に入れたお金が届く先はいろいろですが、いずれも人助けになります。赤い羽根募金も困っている子どもやおじいちゃんおばあちゃんの助けになります。みんなも募金して、お金を贈ろう。
選出理由	温かみのある音楽や背景が、テーマとよく合っていました。お金の力のうち「贈る」を題材にした作品が少ないなか、小学生にも贈る機会がある「募金」を取り上げた作品です。小学生にとって新たな気づきになるでしょう。
運営者総評	お金をもらう立場にある小学生には、「贈るお金」といわれてもピンとこないかもしれません。それでも店先などで募金箱を見かけるときはあります。募金を通じて、お金を贈ることの意味を考えるきっかけとなる、良い作品でした。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト19(50音順)

## 19. 「買い物で地球を守る!」 吉川 咲希さん (団体応募代表者)

(開智中学・高等学校)

テーマ：使う



内容	自動販売機で飲み物を買うからといって水筒を持たずに出かける女の子。もう一人の女の子から「エシカル消費」の話をお聞きします。SDGsの「つくる責任・つかう責任」にあたり、地球にやさしいのだそうです。それを知った女の子は水筒を持って出かけることにします。2人は「身近なことからやってみてね」とみんなに呼びかけます。
選出理由	環境問題やSDGsの観点ではよく聞く話ですが、それをお金の使い方と結びつけたところに意義があります。イラスト、実写、写真などをまじえており、楽しく学べる動画に仕上がっています。
運営者総評	多くのことを1分間で手際よく伝えていきます。画面に出す文字の大きさや色、タイミングもよく、内容がよく頭に入りました。自分の行動が大きなことを動かす一歩になるとみんなが気づける作品になっています。

# 第1回FESコンテスト ファイナリスト20(50音順)

## 20. 「お金ってどうやって増やすの？」 陸 嘉浩さん

(学校法人市川学園 市川中学校・高等学校 中学1年)

テーマ：増やす



内容	小学生にもおなじみの「任天堂」株を例に、投資でお金が増える理由を説明します。「株を買うことは会社の一部を買うこと。そのお金を使って会社の売上が増えたら、会社の一部の価値も増えます」という本格的な解説に続いて、「投資で会社を手伝ったから、お金を増やして返してくれる」とわかりやすい表現も使っています。
選出理由	「増やす」をテーマにした作品が少ないなか、「投資ってすごそう」「株式って何？」と、投資に関心を持ってもらえるような情報提供ができています。
運営者総評	小学生にとってまだ株式投資は遠い存在です。しかし、お金を増やしたいとは多くの子どもが思っているでしょう。任天堂のお手伝いというパワーワードと、ばらまかれる紙幣の映像、株価を表すモニター画面には、視聴する小学生の興味を惹きつける力が感じられます。また、株について「大人になったら」「お金を増やす一つの手段として」と言っている周到さにも感心させられました。

# 最終審査・審査員

最終審査	一次審査を通過した20作品を以下の観点でさらに審査し、動画8作品と学校賞1校を選出しました。審査は4名の審査員と大学生実行委員会によっておこなわれました。
Impact(インパクト)	作品が、見ている人に与える影響の深さや大きさを評価します。動画を見た後に行動を起こすきっかけを与えるような内容であるか、見た人の考え方や意識を変えるような力があるかを見ます。
Creativity(創造性)	作品のオリジナリティや独自性を評価します。視覚的な表現方法や演出など、創造的な表現や独自の視点などを見ます。
Execution(実行力)	作品の制作技術を評価します。映像のクオリティ、編集の流れ、音声の明瞭さなどを見ます。

審査員	最終審査の審査員は、以下4名の方々です(五十音順)。
仲木 威雄氏	レオス・キャピタルワークス株式会社 チーフリスナー
西浦 明子氏	軒先株式会社 代表取締役
真鍋 康正氏	高松琴平電気鉄道株式会社 代表取締役社長
山中 伸枝氏	FP相談ねっと 代表

## 審査員



仲木 威雄

レオス・キャピタルワークス  
チーフリスナー

三菱信託銀行、ブルデンシャル生命保険の後に投信業界へ。2021年7月に「ひふみを売らないひふみ好き」としてレオス・キャピタルワークス株式会社へ。また、プロ野球関西独立リーグ代表理事(一財) さわかみ財団理事(公社) ジャパンチャレンジャープロジェクト 業務執行理事など、多方面で活躍中。



西浦 明子

軒先株式会社  
代表取締役

大学卒業後、ソニー株式会社、All About Japan、外務省外務研修等での勤務経験を経て、2008年4月に日本初のスペースシェアリングサービス「軒先」代表としてサービスを開始。2017年総務省 ICT 地域活性化大賞・奨励賞受賞。東京都主催の女性経営者支援プログラム「NEWCONFERENCE」にメンターとして参加。



真鍋 康正

高松琴平電気鉄道  
株式会社  
代表取締役社長

コンサルティング会社等を経て帰郷し、経営破綻したことでんグループの再生に従事。こと電グループ各社社長として、交通から地方の将来像を提案している。また、地元スタートアップ企業への投資・育成にも力を入れる。香川大学非常勤講師。



山中 伸枝

FP相談ねっと  
代表

心とお財布を幸せにする専門家。ファイナンシャルプランナー (CFP®) として2002年に独立。年金と資産運用、特に確定拠出年金やNISAの講座、ライフプラン相談を多数手がける。「金融庁サイト有識者コラム」などのWeb連載や「いちからわかる! つみたて NS& DeCo」などの書籍も多数執筆。

# 表彰式・懇親会

表彰式開催日	2023年11月26日（日）
場所	CPA会計学院 (FESコンテストの趣旨に賛同いただき会場提供いただきました)  東京都新宿区新宿3-14-20 新宿テアトルビル4F
参加者	参加者 受賞者・引率の先生・保護者・審査員・協賛企業の方々
	<p>最終審査で残った8作品の作者が動画制作にかけた情熱や工夫した点を順にプレゼンし、動画を披露しました。 受賞者がそれぞれ想いを込めたプレゼンに応えるように、審査員の方々から講評をいただき、会場は大いに盛り上がりました。</p> <p>表彰式は大学生実行委員が主導し、事前準備をはじめ当日の会場設営、司会、受付、受賞者や審査員の方との調整などを行いました。</p> <p>表彰式後の懇親会では、立食形式の食事をしながら参加した生徒同士の交流や審査員や企業の方々、学校関係者、保護者の皆さまとの交流を行いました。</p>







# 第1回FESコンテスト 受賞作品 最優秀賞



## 『消費税とは?』

なかかるまい ひなた

## 中軽米 陽向さん

頌栄女子学院高等学校 高校1年

最優秀賞



### 『現役大学生が中軽米さんにインタビュー』

Q.この動画を通して伝えたかったことは何ですか？

A.私が消費税について理解したのは中学生の時でした。知る以前は、動画のように本体価格だけを見て買って、「なんで払うお金が増えるの？」などという疑問を持っていました。消費税について小学四年生の弟に聞いたところ、「わからない」と返ってきたため、そのような小学生がたくさんいるかと思い、子供にとって一番身近な税である消費税について動画を作ることにしました。また、大切な税込価格は、必ずしも大きく書いてあるわけではなく、視覚的に客を騙すために小さく書かれてることがあることも知ってもらいたいと思い、制作しました。

Q.消費税は正しく使われていると思いますか？

A.あまり思いません。例えば、アベノマスクなどはムダだと思います。また、高齢者社会で高齢の方に多く使われているので、未来の日本の学生のためにお金を使ってほしいです。

Q.消費税を小さく書くのは、なぜそうしていると思いますか？

A.モノの値段を安く見せるようにしたいからだと思います。私は、両方見るように気を付けたり、計算機でしています。

Q.作品を作るうえで、参考にした動画はありますか？

A.普段から、TikTokやYouTubeのshortをよく見えています。海外の動画や脱毛のCM広告で、ストーリー建てになっているものを見て参考にしました。

Q.動画制作の経験は、ありましたか？

A.初めてアニメーションを作りました。1分以内で作るのが難しかったです。

#### 【動画のポイント】

- ・小学生向けの動画のため、できるだけ楽しさ、面白さを重視した
- ・TikTokやYoutube shorts を参考に、ストーリーとヴィジュアル、音楽を掛け合わせ、強烈なインパクトを与えることで、記憶に残るような内容にした
- ・絵を描くことが好きなので、絵を用いて自分だけにしか作れない動画に仕上げた

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 優秀賞



『リボ太郎と一緒に  
「リボ払い」の危険について学ぼう』

たがみ ゆうじろう  
田上 悠二郎さん

日本体育大学柏高等学校 高校1年生

優秀賞



## 『現役大学生が田上さんにインタビュー』

- Q.この動画を通して伝えなかったことは何ですか？
- A.私はこの企画を通して、お金は生活に必要不可欠で、とても便利だけど危険な面もあることを知り、小学生にも伝えなければならないと強く思いました。リボ払いを選んだ理由は、成人年齢が18才に引き下げられ、クレジットカードの契約できる年齢も引き下げられ、若者がリボ払いの仕組みをしっかりと理解せずに使い、トラブルに会うことが多いと聞きます。トラブルに会う人を減らすため、小学生のうちから、リボ払いの仕組みについて知っておくことは有効だと思い、制作しました。
- Q.将来、クレジットカードは使いたいですか？
- A.現金が好きだから現金を使いたいです。
- Q.クレジットカードを实际使うとしたら、支払回数はどうしますか？
- A.できるだけ短くし、自分のできる範囲で計画的に使いたいです。
- Q.コンテストを通して、何を学びましたか？
- A.リボ払いについて知れました。YouTubeやテレビを見るとき、こういう意図で作っているのかと、動画を作る側の視点を養えました。

## 【動画のポイント】

- ・小学生に向けた動画なので、面白さと分かりやすさを意識した
- ・面白い映像や声で興味を引き付け、1分という短い時間の中で、伝えたい最低限の情報を強く印象に残るように意識した
- ・今の小学生は、動画を倍速で見るなど飽きやすいと思うので、テンポを良くしたり。途中で面白い映像を入れてメリハリをつける事で退屈にならないように意識した

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 優秀賞



## 『税金を知らう』 こまつ みう 小松 美羽 さん

群馬県立中央中等教育学校 4年

優秀賞

プロフィール

群馬県立中央中等教育学校  
4年（高1）  
趣味：Violin 博物館探訪  
特技：模擬国連UN  
どうぞよろしくお願ひします！

納める

税金を知らう

Answer5  
小学生一人あたりに使われる税金はどのくらい？  
① 約12万円  
② 約55万円  
③ 約89万円  
未来を担うことも世代教育のために多くの税金を使用し感謝して勉強に励もう。

### 『現役大学生が小松さんにインタビュー』

Q.この動画を通して伝えなかったことは何ですか？

A.私たちの日々を支える税金ですが、その税金について詳しく知る機会はなかなかありません。勿論、生活に密着しているからこそ、漠然としたイメージや普段の買い物に関わる情報などは知っていますが、それ以上に一国民として税金に対し知識を蓄える必要があると思います。特に知的好奇心・探究心が旺盛な小学生から、金融に親しむことは将来の日本の経済の土台を築くことにも繋がるはずで、小学生にとって、知識を得る“入り口”が最も重視すべきだと制作中に気が付き、本動画では、かなり基礎的な情報のみのクイズにしました

Q.動画制作にあたって、金融教育に対してより深く考えたことはありますか？

A.昨今のニュースで度々話題となっている「インボイス制度導入」についてですが、巷では混乱も多いようです。その理由は、税金は難解だという固定観念からくる“知ることからの逃亡”の弊害と言えます。では、どのようにしたら金融に興味を持つ人々が増えるのかを考えた時、それは、このコンテストの趣旨にもある通り、若い世代にこそ教育を展開することだと思います。

Q.動画制作で難しかった点は何か？

A.宣伝動画と違い、キャッチーなだけでなく、内容も大事にしなければならなかった点です。細かくなりすぎず、文字量も調整して頑張りました。

Q.動画制作日数を教えてください。

A.勉強の合間を縫いながら、1週間かからないくらいで完成しました。

#### 【動画のポイント】

- ・見やすさを重視し、使う色はシンプルに抑え、大きめの読みやすいフォント、白の背景などで情報が頭に入りやすいようにした。
- ・(3択クイズ)極力文字数は少なくした。しかし、教育動画という性質も鑑みて、問題に関する解説も小さく添付するなど、用途に合わせて利用方法を選べるようにした。
- ・多様性を考えたイラストチョイス。また、勉強する生徒も、従来のようなノートの使用者だけでなくパソコンも使うなど、学習の在り方も時代に適応させた。

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 万博賞



## 『お金の基本』 たなか くるみ 田中 来実 さん

万博賞

頌栄女子学院高等学校 高校1年

プロフィール

使う  
お金の基本

FESコンテストファイナリスト  
田中 来実

頌栄女子学院高校 1年生  
趣味：映画鑑賞（ホラー映画）  
特技：バレーボール

400yen in total  
↓  
100yen short

V alue  
A mount  
P urpose

### 『現役大学生が田中さんにインタビュー』

Q.この動画を通して伝えなかったことは何ですか？

A. お買い物に行っても忘れがちなお金の大切さ、そして、それをどう使うかについて注目しました。私が実際にお金の面で失敗をしてきた一つ一つの経験から学んだ教訓も動画に詰め込みました。お金の基本に戻った動画なので、楽しみながらその大切さをわかってくれたら嬉しいなと思いながら作りました。

Q.実際におつかいで「今日の夕飯」を買ったことはありますか？

A. お母さんが風邪をひいたとき。考えて買えた。ありがとうって言ってもらえた。

Q.動画のように、お小遣いを短時間で使い切ってしまったことはありますか？

A. 遊ぶ友達によって、お金の価値感が違います。例えば、お昼ご飯、おいしいから選ぶ子と安いから選ぶ子と相手によって変わってしまって、すぐ使い切ってしまったことがあります。

Q.これまで一番「しまった」と思った、おこづかいエピソードを教えてください。

A. 100円お菓子のクレーンゲームをゲーセンでやりすぎました。

Q.この動画を家族に見せましたか？どのような感想をもらいましたか？

A. 見せました。お母さんは支援学校の先生をしていて「最近の子は上手だねー。アニメーションの使い方がウマイ。参考にしようと思った」と言ってもらえました。

Q.VAP良かったです！他にも候補は、ありましたか？

A. 他に候補はないです。本当は、語呂合わせにしたかったのですが、できず、それでもまとめが大事だと思って入れました。

#### 【動画のポイント】

- ・ 日常でありうるようなシーンをいくつか取り入れ、一つの動画でたくさんのメッセージが詰まるようにしました。
- ・ 最後は合言葉のようなものも作り、みんながよりよくお金について学べるよう工夫しました。

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 奨励賞

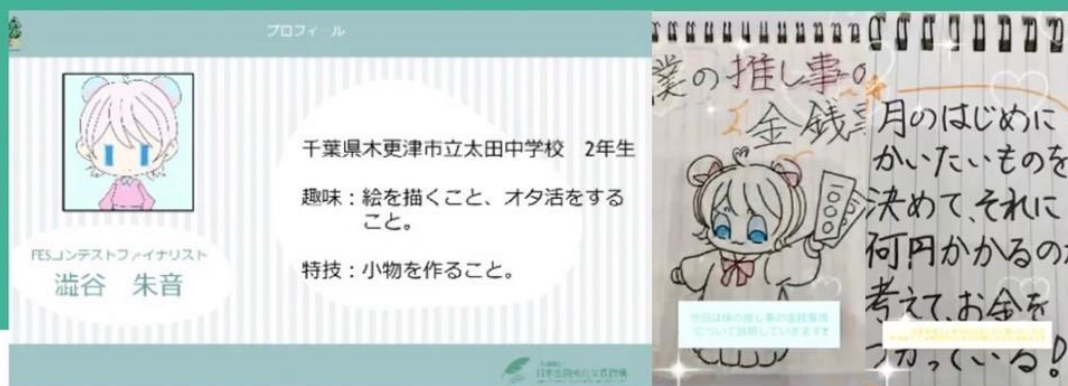


## 『推し事の金銭事情について』

しづや あかね  
澁谷 朱音 さん

奨励賞

木更津市立太田中学校 中学2年



### 『現役大学生が澁谷さんにインタビュー』

- Q.この動画を通して伝えたかったことは何ですか？
- A.お金のことをちゃんと考えて使ってほしいと思い、制作しました。
- Q.毎月、推し活にどのくらいお金を使っていますか？
- A.大体1カ月で1500円くらいです。バイトはできないため、お小遣いでやりくりしています。ライブがある際は、残しておいたお年玉を使ったり、誕生日・クリスマスのプレゼントとしてももらっています。
- Q.推し活のお金の使い道は？
- A.歌手の活動やライブ、グッズ購入などです。
- Q.家族も推し活をしていますか？
- A.高校2年生の兄は、サッカー選手が好きで、好きな選手が登場するゲームで遊んだり、カードを収集したりしています。
- Q.ノートに独自絵キャラクターを書いていましたが、動画制作日数は、どのくらいですか？
- A.絵を描く時間に15～20分。編集で15分。全体で1時間以内で制作しました。
- Q.参考にした動画はありますか？
- A.テレビで流れてきた税金についてのCMが、推し活についてのものでしたので、推し活についての動画を作ろうと決めました。
- Q.動画を作るうえで難しかったところは？
- A.字幕と音声のずれを修正することが大変でした。ずれている箇所があれば、その部分を短くするなどし、繰り返し再生して修正しました。

#### 【動画のポイント】

- ・見る人が親しみを持てるように、キャラクターを創って紹介した。
- ・見て楽しく、聞いて明るくなるように、映像とBGMを工夫した。
- ・自らの体験談をもとに制作した。

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 奨励賞



## 『現役大学生が酒寄さんにインタビュー』

Q.この動画を通して伝えたかったことは何ですか？

A.納税は社会への貢献だと言われています。私たちの税金は、社会に不可欠ですが、納税は、働いて得た賃金を盗む泥棒のような存在だと思えます。だから、脱税の方法を探す人もいますが、そのような話はネットの中ぐらいでしか検索できません。ネットの話なので、当然嘘も書いてある為、嘘に騙されて違法に走る可能性があります。そうならないために、自ら稼げるようになった時に税金に対して不満が湧くのは仕方のないことだとしても、せめて「税金は社会の役に立っているのだから払うのは仕方のないことだ」と受け入れてほしいと思い、制作しました。

Q.税金に対してどう思っていますか？正しく使われていると思いますか？

A.支払うべきものだと思っています。税金泥棒という話をよく聞きますが、学生の立場でどちらかというとな税金を使う側だから正しく使われているかは立場的にあまり言えませんが、ちゃんと払える大人になりたいです。

Q.税金が減ったら世の中はよくなると思いますか？

A.税金が減ることについてあまり考えてなかったの、難しいです。税金の負担の実感もあまりありません。

Q.動画制作において、何か参考にしたものはありますか？

A.映像は、コンテストのホームページにある動画を参考にしました。「いらすとや」を使っていたので、自分でも作れるかと思いました。内容の税金についてはネットで調べ、税金の使い道は、ふわっとしか知らなかったかの、本当に教師に使われているのか疑問を持ちました。

Q.制作動画の中で、難しいフレーズがありました。、小学生向けにするならどこを直したいですか？

A.分かりづらいとは思っていましたが、どうしても伝えたい部分だったので、フリガナを付けてあげてみました。早口なところや言葉を濃縮してしまったので、国税・地方税のところを削ればより良くなったと思います。

### 【動画のポイント】

- ・機械音声を使用した理由は、マイクの使い方やボイスチェンジがわからなかった他、自分の声は聞き取りづらと言われるからです。
- ・一分以内に収めるために、見にくさと引き換えにですが、早口で解説して実質的な長さを作りました。それでも、できるだけ見やすいよう絵をつかった解説を心がけました。

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 審査員特別賞

第1回 FES コンテスト  
Financial Education Support Center for Student

『マルチ商法に気をつけよう』  
たかはし りょう  
高橋 亮羽 さん  
岐阜県立岐阜高等学校 団体応募

審査員特別賞

プロフィール

使う  
しょうほう  
マルチ商法に  
気をつけよう  
FESコンテストファイナリスト  
高橋 亮羽

岐阜高校 2年生  
趣味: 音楽鑑賞  
特技: プログラミング

しょうほう  
マルチ商法は  
しょうひん  
商品を買って、  
それをまた  
ほか  
他人に買わせるよ

## 『現役大学生が高橋さんにインタビュー』

- Q.この動画を通して伝えたかったことは何ですか？
- A.マルチ商法というのは、小学生はあまり聞いたことがない人が多いと思い、その危険性などを知って欲しいと思いました。私もマルチ商法という、言葉は知っていましたが、うまく説明できない状態でした。そして、ネットでマルチ商法について調べてみたところ、難しい説明が多く、それを小学生が理解できるかどうかと、とても悩みました。この動画を見て、マルチ商法について知ってもらい、成長して大人になった時に、騙されないようにして欲しいと思い、この動画を制作しました。
- Q.マルチ商法を知ったきっかけは何ですか？
- A. 中学の授業で知り、そこからは発想を得ました。
- Q.友達がマルチ商法にあっていたら、どうしますか？
- A.本当の友達なら「真面目に働かないと、お金は稼げない。楽に働く方法はない」と、ビシッと言います。人生ビシッとしなければ。
- Q.動画を作る上で苦労したことは、何ですか？
- A.小学生にもマルチ商法をわかりやすく説明するのが、難しかったです。
- Q.動画制作方法は、どのようなものでしたか？
- A.クラスで制作しました。エキストラなど20人ほどに協力してもらい、みんなでアイデアを出し合って役割分担を行い制作しました。

### 【動画のポイント】

- 小学生向けに、大きめな字幕をつけて、ふりがなを振りました。なるべく難しい言葉を使わずに、説明しました。
- 楽しそうなBGMや効果音をつけることで、小学生の子が見ていて、退屈しないように動画を作りました。



# 第1回FESコンテスト 受賞作品クリエイター賞



## 『豚くんの貯金講座』

ばば おとわ  
馬場 音和さん

名古屋市立沢上中学校 中学1年

クリエイター  
賞



### 『現役大学生が馬場さんにインタビュー』

- Q.この動画を通して伝えたかったことは何ですか？
- A.この動画を通して、お金を貯める力を子供に身につけてもらいたいです。私には、小学2年生の妹がいますが、子供が身近に感じられるのは貯金だと思いました。見てくれた子供達が少しでもお金や貯金に興味を持ってくれると嬉しいです。
- Q.馬場さんも実際におこづかいをもらったらその半分を貯めていますか？
- A. はい。
- Q.実際に「いくらまで貯めて〇〇を買う」目標を立てたことがありますか？
- A. はい、今も「ペット用の隠れ家」を買う目標を持っています。ペットは3歳の黄色いトカゲです。
- Q.もし、お小遣いが完全に0円になってしまったら、どんな解決策があると思いますか？
- A.また一からコツコツ貯めようと思います。
- Q.優しい絵柄が目を引きます。動画作成のために何枚の絵を描きましたか？
- A.絵は10枚以上は描きました。豚を選んだのは貯金箱のイメージです。もう一つの動物は、子供たちが好きな動物は、犬と猫と考え、妹に聞いたら犬が好きだといったので犬にしました。

#### 【動画のポイント】

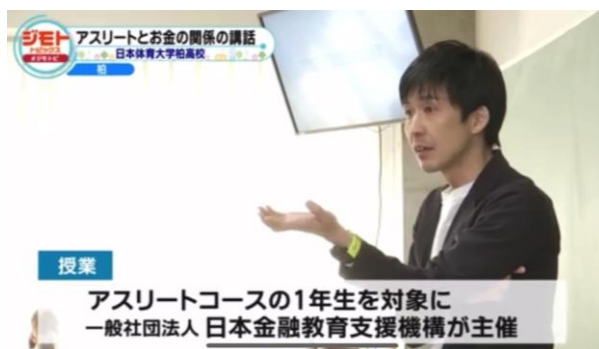
- ・小さな子供でも分かりやすい
- ・見飽きない楽しさがある
- ・豚の貯金箱をモデルにした「豚」くんと、子供たちに身近な「犬」をキャラクターとして使用している。

# 第1回FESコンテスト 受賞作品 最優秀校賞

「日本体育大学柏高等学校」



副賞として、第1回FESコンテストの審査員で、金融業界で活躍しながら独立リーグの代表理事を務める仲木威雄氏2/13(火)の「NISA(ニーサ)の日」に「アスリートとお金の関係についての講話」を実施し、当日の様子は千葉テレビとJ:COMIに取材いただきました。



# 総括

第1回FESコンテストは、中高生が小学生のために、お金の8つの力のうちの一つを選び60秒以内の縦型動画を制作しました。

全156作品の応募があり、税金の使用目的、お年玉の賢い使い方、消費と浪費の違い、ふるさと納税の意義、スマホ決済の利便性といった多岐にわたるテーマが取り上げられました。

参加作品は、教育的な内容とクリエイティビティの両方で評価され、小学生にとって興味深く、かつ有益な情報が提供されました。

このコンテストは、子どもたちがお金に関する知識を楽しく学ぶことができる貴重な機会を提供しました。

特に、消費税の理解、貯金の重要性、お金の計画的な使い方など、日常生活に密接に関連するテーマの作品が多く、参加者による独自の解釈と創造性が際立っていました。

また、アニメーション、実写、クイズ形式など、様々な表現手法が使われ、各作品のメッセージを効果的に伝えていました。

# 今後の展望・計画

現場の教員の先生方からFESコンテストに関与したいという積極的な声にお応えする為、次回の第2回開催より「教員アンバサダー」を任命することになりました。

次回のコンテストでは、参加作品数を500作品に増やすことを目標としており、この目標達成のために、教員アンバサダーの協力を得て、夏休みの宿題プロジェクトとしてコンテストへの参加を促します。教員アンバサダーは、学校でのお金に関する教育を促進し、子どもたちがお金の8つの力を自立的に学び、ICTを活用し縦型動画でアウトプットすることを支援する役割を果たします。合わせて当機構の認定講師による出前授業や地域でのワークショップを開催し、より多くの子どもたちがコンテストに参加する機会を提供できると考えて、更なる展開を想定しています。

金融教育という分野は「金融」と「教育」の両方の側面がありますが、今までは金融の側面が強調されてきました。本プログラムは、教育の面を強調することで、学校現場の先生方が通常の授業の中で金融教育を行えるように工夫しています。「FESコンテスト教員アンバサダー」の先生方は、自分の学校の生徒たちへのアプローチだけでなく、横のつながりもあることでその教育現場からの金融教育の輪が大きく広がりやすくなります。

第1回FESコンテストの成功を踏まえ、今後の計画では参加者のサポートを強化し、作品の多様性と質をさらに高めることを目指します。教育現場との連携を深めることで、子どもたちがお金に関する知識を楽しみながら学び、日常生活で役立てることができるようになることを期待しています。

ご参考：  
第2回開催に向けたイメージ動画

[FESコンテスト オープニング](#)



# 主催者よりごあいさつ

一般社団法人日本金融教育支援機構は「人生の選択肢を増やす金融教育を」理念に、日本に住む幅広い世代が豊かな生活を送ることを目標に、2022年12月に設立いたしました。

アメリカやイギリスでは当たり前のようにおこなわれている金融教育も、日本では古くから「お金＝不浄のもの」といった考え方は今なお根深く、金融教育どころか子供の前ではお金の話は避ける傾向があります。またお金についての考え方は家族の価値観が強く反映され、連鎖するものであることも事実です。

金融に関する知識や能力についての金融リテラシー調査2022年の調査結果によると、「金融教育を受けたことがある」と認識している人の割合は、アメリカで20%なのに対し、日本では7%です。さらに「金融知識に自信がある人」の割合においては、アメリカ71%に対し、日本ではわずか12%となっています。

金融教育は、2022年4月に文部科学省が定める「学習指導要領」の改訂により、高校生の家庭科にて必修化となりました。それよりも早い2017年度の学習指導要領で、小学校では「家庭」、中学校では「技術・家庭(家庭分野)」に「消費生活・環境」として明記されており、高等学校でもようやく導入されたことが話題になりました。これは成年年齢が18歳に引き下げになったことが、大きく影響しております。

当機構では、活動を通じて制定したお金に関する「使う」「稼ぐ」「納める」「貯める」「備える」「贈る」「借りる」「増やす」の8つの力を総合的に育成し、社会で生き抜く力を習得できる環境を構築してまいります。

当機構のメンバーの多くは地方出身者です。進学や就職で東京へ来たものの、常に地元を気に掛けていて、チャンスがあれば地元へ貢献したい。そんな熱い思いをもったメンバーばかりです。収入や地域格差で生じる「情報の乖離」を埋めることや、「日本の将来に貢献できるような投資をしたい」「Uターンは叶わないものの地元の子供たちに貢献したい」「自分たちの力で自分の選択肢を増やし、そしてその中でしっかりと選び取っていくことを応援したい。」金融教育の振興により、肯定的な人生を歩む未来の子供が増えていくこと、そんな未来を創造すべく、日本全国どこの地域にいても、人々が、明るく、楽しく生活できる環境づくりを目指してまいります。

また国の推奨する制度である、確定拠出年金や新NISA制度を通して、金融商品と正しく付き合える国民が増えていくことを心から願っております。

当団体の活動を応援くださる皆様へのご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人  
日本金融教育支援機構  
Japan Financial Education Support Organization

代表理事 平井 梨沙

# 運営協力者(敬称略)

## 正会員 認定講師(五十音順)

秋葉 裕幸

大竹 明彦

大場 実

佐藤 彰

高野 具子

仲岡 由麗江

## 実施報告書執筆協力者

赤川萌(大学生運営実行委員)

久米里佳(大学生運営実行委員)

八木満里子(正会員 認定講師)

西園有加(株式会社ファミスク)

## 理事

平井梨沙

阿部奈々

中林友美

## 監事

真鍋康正

事務局長

岩井純一

## 大学生運営実行委員

茂木 隼人 明治大学大学院 2年生

平山 智也 國學院大學 4年生

田所 翠 早稲田大学 4年生

高鹿 綾華 慶應義塾大学 4年生

森 さくら 獨協大学 3年生

花木 瑠音 明治大学 3年生

井上 結花 明治大学 3年生

近藤 穂 関西大学 3年生

秋間 安美香 立教大学 3年生

鈴木 理央 駒澤大学 3年生

三宅 杏奈 関西大学 3年生

田中アリーネ愛弓 関西学院大学 3年生

長友 陽奈子 早稲田大学 3年生

若林 柚希 西南学院大学 3年生

坂井 愛 南山大学 3年生

佐藤 友美 北海学園大学 3年生

久米 里佳 慶應義塾大学 2年生

牧田 未来 フェリス女学院大学 2年生

高田 真梨奈 武蔵大学 2年生

小西 紗礼 中央大学 2年生

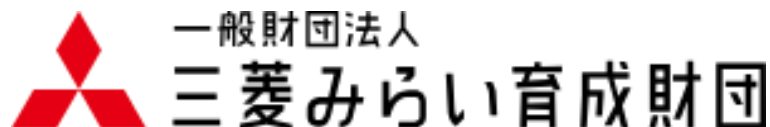
渡辺 梨子 東京女子大学 2年生

藤井 美羽 神戸女子大学 2年生

赤川 萌 青山学院大学 1年生

# 運営協力団体(敬称略)

助成



協賛(シルバー)



協賛(ブロンズ)

株式会社リフレサービス



協力

夢は、18才から始まる。



Panasonic Homes



一般社団法人  
行政書士の学校



後援



会場提供

